

# 日本共産党の竹田えつ子です こんにちはニュース 議会報告

No.190 2022年8月第4週



くらしのご相談事  
いつでもお声かけ  
ください。

## 気候危機打開は 待ったなしの 課題

日本共産党埼玉県委員会  
が主催した「気候危機  
打開と自治体における脱  
炭素の課題」の学習会に  
オンライン参加しました。  
大変深刻だと感じたの  
は、気温上昇で異常気象  
の頻度や強度が変わる資  
料でした。

気温上昇で  
異常気象の頻度や強度が変わる

1850-1900年からの気温上昇	1°C(現在)	1.5°C	2°C	4°C
10年に1度の 熱波などの種 類の増加	高湿の水率 +1.2%	+1.9%	+2.6%	+5.1%
発生の頻度	2.8倍	4.1倍	5.6倍	9.4倍
50年に1度の 極端な高温	高湿の水率 +1.2%	+2.0%	+2.7%	+5.3%
発生の頻度	4.8倍	8.6倍	13.9倍	39.2倍
10年に1度の 大雨	雨量 +6.7%	+10.5%	+14.0%	+30.2%
発生頻度	1.3倍	1.5倍	1.7倍	2.7倍
10年に1度の 農業や生態 系に被害を及 ぼす干ばつ	発生頻度 1.7倍	2.0倍	2.4倍	4.1倍

出典: IPCC AR6, 2021

▶高村ゆかり（東京大  
学）気候市民サミット  
講演資料より

### 地球温暖化対策

### 鴻巣市の取組

鴻巣市は、昨年10月1  
日に、2050年までに  
二酸化炭素排出量を実質  
ゼロとする「鴻巣市ゼロ  
カーボンシティ宣言」を  
行いました。今年度温室  
効果ガスの削減の為に、  
公用車の電気自動車購入  
・エコ住環境づくり事業  
・中学校給食残渣の堆肥  
化事業を進めています。  
エコ住環境づくり事業で  
は、1024、4万円予  
算化しました。中でも電  
気自動車の購入、省エネ  
性の高い冷蔵庫の買換え  
に対する補助制度は大変  
好評で、既に受付を終了  
しました。

### 照明のLED化補助も含めて 取組の強化を

昨今の異常気象による  
酷暑・集中豪雨など大変  
深刻です。抜本的に対策  
を強化することが求めら  
れていると思います。9  
月議会で、電気自動車の  
購入、省エネ性の高い冷  
蔵庫の買換えに対する補  
助制度を引き続き行くと  
共に、照明のLED化に  
補助することなどを求め  
ていきます。

### 気候危機打開の為に も農業の 支援策を

鴻巣市の農業振興地域  
では、主に稲作が行われ  
ています。自公政権のも  
とで「米作って飯食え  
ぬ」といわれるように農  
業後継者不足は深刻で、  
休耕田が多々あります。  
水田は保水、水のろ過  
機能、地盤沈下を防ぎ、  
水蒸気を発散して気温の  
上昇を抑える働きもして  
います。さらにメダカや

カエル、ザリガニなどとさ  
まざまな生き物のすみか  
や、わたり鳥の生息地に  
もなっています。こうし  
た農地を守り、食料自給  
率を上げるためにも、市  
独自に農業支援策を抜本  
的に強化することを求め  
ていきます。

## 「国葬反対」 スタンディング



「法的根拠  
無し、国民の  
税金使い、統  
一協会とつな  
がる安倍元首  
相を神聖化す  
る国葬に反  
対」宣伝を8  
月19日行いま  
した。  
「署名用紙  
はないの？」  
「募金した  
い」等様々な  
反応がありま  
した。

### 2会派が解散、 新会派結成

9月議会を前に8月  
18日「鴻創会」「こつ  
のす自民」会派が解  
散、両会派が合流「明  
誠会」を結成しまし  
た。所属議員は10人か

ら9人に、代表は田中克  
美議員です。

徹底追及 統一協会（裏  
面掲載 日刊赤旗より  
前週よりの続き）  
日本共産党は何故『統一  
協会』と表現するのか、  
裏面掲載



# 安倍元首相「国葬」中止求める

## 著名人17氏呼びかけ オンライン賛同署名開始へ

学者や作家、文芸評論家などの著名人らが22日、安倍晋三元首相の「国葬」中止の一点を求めるアピールを出し、賛同署名をオンラインでスタートすると発表しました。呼びかけ人らが衆院第1議員会館で会見し、全国で「国葬反対」と声をあげ行動する市民と連帯しながら、「みなさんの声を見える形にしたい」と訴えました。

### 呼びかけ人17氏(敬称略)

飯島滋明(名古屋学院大学教授)、石村修(専修大学名誉教授)、稲正樹(元・国際基督教大学教授)、上野千鶴子(東京大学名誉教授)、内田樹(神戸女学院大学名誉教授)、落合恵子(作家)、鎌田慧(ルポライター)、清末愛砂(室蘭工業大学大学院教授)、五野井郁夫(高千穂大学教授)、斎藤美奈子(文芸評論家)、佐高信(評論家)、澤地久枝(作家)、島藺進(東京大学名誉教授)、清水雅彦(日本体育大学教授)、田中優子(法政大学名誉教授・前総長)、中島岳志(東京工業大学教授)、永山茂樹(東海大学教授)

## 不安あおり高額印鑑＝本紙入手 前号の続き

公判で検察は、その他の押収資料の分析や販売員らの供述などから、論告でこう指摘しました。

「(同社は) 印鑑販売によって得た客をフォーラムに参加させた上、教育部や婦人部等でトレーニングし、実践部隊として統一協会の信者にしていき、信者献金をさせることを一連の成長として連続的にとらえていた」

印鑑販売は「入り口」であり、そこから「相手の信者化を図り、その過程で客の全財産を統一協会とその関係者に拠出させることをシステム化して実践していた」として、裁判所に処罰を求めたのです。

現在、統一協会は路上で通行人に声をかける手口の印鑑販売を行っていないといいますが、しかし、全国靈感商法対策弁護士連絡会代表世話人の山口広弁護士は「『先祖の因縁』で不安をあおり、多額の金銭を繰り返し拠出させる統一協会のシステムは変わっていない」と話しています。



(写真) 統一協会関連会社「新世」が客に高額で購入させていた印鑑

### 共産党と「しんぶん赤旗」は「統一協会」と表記します

日本共産党および「しんぶん赤旗」は、「旧統一協会」(世界平和統一家庭連合)の表記を「統一協会」とします。統一協会は2015年に「世界基督教統一神霊協会」から現在の名称に変更しました。しかし、靈感商法や集団結婚などで社会的批判をあびてきたカルト集団であることに変わりなく、政府が名称変更を認めたこと自体が不当だと考えるからです。